

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	精神看護学概論			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	1 年		1 (20)	講義	令和8年度前期
科目目標 1) 心の構造・機能・発達、心の健康について理解する。 2) 現代社会における特徴と心の病、心の健康づくりについて理解する。 3) 精神看護の基本となる理論について理解する。 4) 精神保健福祉の変遷を歴史的・社会的・医療的な視点から学び、社会資源について理解する。 5) 精神看護における倫理と人権擁護について理解する。					
授業概要 精神の健全な発達、精神の健康を維持・増進するための看護の基本と、理論を学習する。					
卒業時到達目標との関連 DP- ①・②・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 こころ・心・精神の健康 1) 心と精神 2) 脳の構造とこころ 3) こころの働き 4) 自我の発達	10	2	8 精神科における倫理と人権 事例を用いた検討
2	2	2 精神保健と精神障害の予防			
3	2	3 現代社会と精神的問題 1) 自殺対策基本法 4 リエゾン精神看護			
4	2	5 精神看護の基本となる理論 1) 対人関係モデル フロイト、ペプロウ、トラベルビー			
5	2	6 精神看護の基本となる理論 2) ストレングス、リカバリー、エンパ ワーメント			
6	2	7 精神保健医療福祉 1) 精神医療・看護の歴史と法律の変遷			
7	2	7 精神保健医療福祉 2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する 法律 (精神保健福祉法)	【テキスト・参考書】 ◆テキスト 精神看護の基礎 (医学書院) 精神看護の展開 (医学書院) ◆参考文献 系統看護学講座 基礎分野 心理学 もっとよくわかる！脳神経科学 メンタル ステータス イグザミネーションV o 1 . 1		
8	2	7 精神保健医療福祉 3) 社会資源の活用 (障害者総合支援 法)			
9	2	8 精神科における倫理と人権 1) 患者の人権擁護 2) 精神科における人権擁護と倫理的問題	【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ レポート ■ ワークへの参加度		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	精神援助論 I			担当講師	専任教員
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	1年		1 (30)	講義	令和8年度前期
科目目標 1) コミュニケーション技術の基本を踏まえ、患者－看護師関係について理解できる。 2) 対人関係構築のための治療的コミュニケーション技術について理解できる。 3) 他者理解のための自己理解の必要性が理解できる。 4) プロセスレコードの記述と分析を通して、自己洞察、自己理解の意義を理解できる。 5) 機器も出ると危機看護介入、現代社会の危機について理解できる。 6) 精神に障害のある人の対象理解と看護を導きだす過程を学ぶ。					
授業概要 科目の前半は精神看護の基盤となるコミュニケーション技術、自己洞察の意義と方法を学ぶ。後半は危機状態にある人の理解と看護、精神に障害のある人の看護の考え方について学ぶ。					
卒業時到達目標との関連 DP- 1・②・3・④・⑤・⑥・7・⑧・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1 コミュニケーション技法 1) 精神看護学における対象の特徴とケアの原則 2) コミュニケーション技法	10	2	6 場における危機 3) 職場
2	2	2 治療的コミュニケーション技術 1) 治療的関わりの基本 2) 受容、傾聴、共感、自己一致 3) プロッキング、転移、逆転移	11	2	7 精神に障害のある人の理解と看護 1) 精神に障害のある人の特徴 2) 精神科看護の特徴 3) 精神状態のアセスメント ①観察の方法と視点 ②精神状態のアセスメント ③情報収集と総合的アセスメント
3	2	4) 自己理解、自己受容、自己開示	12	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性（看護過程） 1) 事例の全体像把握
4	2	3 プロセスレコードと再構成 1) 自己洞察の意義 2) プロセスレコードの目的と方法 3) プロセスレコードの書き方	13	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性（看護過程） 2) 情報整理とアセスメント(常在条件)
5	2	4) 再構成の実際 他者のプロセスレコードから学ぶ 5) プロセスレコードの記入	14	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性（看護過程） 3) 情報整理とアセスメント(病理的状态)
6	2	4 危機理論 危機の特徴、危機の種類、危機の過程 危機の予防、危機を回避する要因、危機介入	15	2	8 精神に障害のある人の理解と看護の方向性（看護過程） 4) 看護の方向性
7	2		【テキスト・参考書】 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の基礎（医学書院） ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開（医学書院）		
8	2	5 危機モデル フィンク、アギュラ 6 場における危機 1) 家族・家庭			
9	2	6 場における危機 2) 学校	【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 ■ レポート ■ ワークへの参加度		

三次看護専門学校 授業要項 実務経験のある教員等による授業

科目	精神援助論Ⅱ			担当講師	専任教員/外部講師
学科名	学 年	クラス	単位 (時間数)	授業の種類	実 施 時 期
第二看護学科	2 年		1 (30)	講義・演習	令和8年度前期
科目目標 1) 主な精神疾患と検査・治療と看護について理解する。 2) 精神に障害がある人に特有な症状や行動と看護について理解する。 3) 精神に障害のある人の日常生活の障害と看護について理解する。 4) 精神に障害のある人の人権擁護と地域での生活を支えるしくみについて理解する。 5) 精神に障害のある人のと家族への支援について理解する。					
授業概要 精神に障害のある人とその家族の特徴を理解し、看護を実践するための基礎を学ぶ。					
卒業時到達目標との関連 DP- 1・2・3・4・⑤・⑥・⑦・⑧・9・10・11・12					
回数	時間数	授 業 内 容	回数	時間数	授 業 内 容
1	2	1. 精神障害の病態と治療・検査 (1) 精神障害の分類と診断基準 (2) 精神障害と精神症状 (3) 主な精神疾患の特徴 (4) 主な検査・治療	10	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (3) パーソナリティ障害 (4) 性同一性障害 (5) 自閉症スペクトラム
2	2		11	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (6) 摂食障害 (7) 不安障害
3	2		12	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (8) 強迫障害 (9) パニック障害
4	2		13	2	7. 依存症と看護 アルコール依存や薬物依存など
5	2	4. 主な治療を受ける患者の看護 1) 薬物療法と看護 (1) 精神科における薬物療法 (2) 薬物療法を受ける患者の看護	14	2	8. 安全な療養環境の提供 攻撃的行動、暴力、暴力防止プログラム
6	2	4. 主な治療を受ける患者の看護 2) その他の治療と看護 (1) リハビリテーション療法 (2) 生活技能訓練 S S T (3) 電気けいれん療法	15	2	9. 患者と家族の支援 患者会、家族会 退院支援 10. 患者と家族の支援 地域で暮らす精神障害者の理解 精神科訪問看護
7	2	5. 精神科病棟での入院患者の処遇と権利擁護 (1) 行動制限と看護 (2) 代理行為	【テキスト・参考書】 精神看護の基礎 精神看護学① (医学書院) 精神看護の展開 精神看護学② (医学書院)		
8	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (1) 統合失調症			
9	2	6. 疾患をもつ人の生活と看護 (2) 双極性障害			
			【成績評価の方法】 ■ 筆記試験 レポート ワークへの参加度		